



八尾育成協だより

第26号

(編集・発行)
八尾市青少年育成連絡協議会 広報部
八尾市本町一丁目(三階)
八尾市教育委員会事務局生涯学習課内
電話(072)924-3849
FAX(072)924-5593

育成協だよりを八尾市ホームページに掲載しています。下記のQRコードからご覧ください。



大学生リーダーの研修を実施しました!!

今年度はコロナ禍の影響で、残念ながらリーダースクール、ジュニアリーダー養成研修会とも、こども達を集めての実施ができませんでした。そんな中でも、「この1年は次に向けてのステップアップの期間」と位置づけて、例年大学生リーダーとして共に活動してくれている関西福祉科学大学ボランティアサークル マナのみなさんに研修を実施しました。ここではその研修の様子を紹介いたします。

第1回 KYT (危険予知トレーニング)研修

はじめにリーダースクールとジュニアリーダー養成研修会の目的や事業内容を説明し、大学生リーダーに担ってもらう役割を話しました。「安全に活動すること。これは絶対に大事なことです。この研修では、活動時に起こりえる危険要因を描いたシート(KYTシート)を使います。KYTシートのどの部分が、なぜ危険で、どうすれば安全になるかを各班で話し合いました。また、それを全体で発表し、それぞれが得た知見をみんなと共有しました。これで活動のスタートラインはばっちりです!



第2回 防災キャンプ(事前研修)

環境アニメイテッドやお主催の親子参加型イベント「防災キャンプアウトドアから防災につながる」に参加することも達の見守り等のため、大学生リーダーがボランティアとして参加することになりました。今回は当日のプログラムを事前に体験します。



火起こしや、ツナ缶で作ったランプ、空き缶炊飯、テントの組み立てなど、災害時に役立つアウトドア技術を学び、当日の準備を整えました。



第3回 防災キャンプ (イベント協力/本番)

さわやかな秋晴れのなか、今年度初めてのこども達の活動です。事前研修のおかげで、本番は自信を持って指導することができました!

また、第1回で学んだKYT研修も生きています。こども達の動きに目配りをして、危なく



なりそうな場面があれば、「こちにしてみようか」と上手に誘導する姿が見られました。

第4回 基礎野外技術 ロープワークの習得

今回の課題は「ロープで遊具作り」です。まずロープの様々な結び方を教えてもらいます。

次に自然のなかに入り、何の遊具をどこに作るか決めていきます。1本のロープでは長さが足りないのでロープ同士を結んだり、木に巻き付けて固定したり、ロープワークを駆使します。強度は十分か、傾斜の勢いがつきすぎないか、と安全面の確認を何度も行います。



よし、完成!ロープと滑車だけで、見事ターザンロープとブランコが出来あがりました。自分たちで作った遊具はとても楽しく、次はぜひこども達に体験してほしいと思えました。



第5回 冬の定番プログラム 閉講式

最終回は、炭・薪の火起こしと、五感を使って自然を感じるプログラム「ネイチャーゲーム」の体験をしました。

ネイチャーゲームでは、「森の宝物リスト」に沿ったものを各々で森の中へ探しに行きます。

「大きなはつば」や「今の季節を感じるもの」など、こどもに戻ったように必死で探し回りました。

最後に全研修のふりかえりとして感想を言い合い、大学生リーダーからは「もしこども達がいれば、という気持ちで研修に臨んだ」という声がかれました。

1年間の研修を終え、次年度はステップアップした大学生リーダーによるこども達への指導が期待できそうです!



防災キャンプ ふりかえり日記

「コロナ禍で外出の機会が減っている子ども達が、活動を通して楽しそうに笑っている姿が学生ボランティアにも非常に癒しでした。なかなか経験することのできない防災キャンプも子ども達にとって良い思い出になっていて欲しいなと思います。また、これから起こるであろう大災害にも今回の活動を思い出して活かして欲しいです。

防災キャンプ ふりかえり日記

普段はなかなか年の離れた子どもと触れ合う機会がないので、良い思い出になったと思います。火起こしやテントの組み立てでは、相手が何を必要としているのかを考えお手伝いすることができました。

防災キャンプ ふりかえり日記

初めは緊張しましたが子供達も壁を作らず接してくれたことでリラックスできました!成功した達成感を共有できることが嬉しかったです。



令和3年度 青少年指導員・子ども会育成者講習会

今年度は2つの講習会を開催し、青少年指導員・子ども会育成者のみなさんにご参加いただきました。

発達障がいのある子どもたちとのコミュニケーション

発達障がいのある方には、目には見えない特性があり、それを知ることが支援のスタートです。特性には、①見え方の違い②聞こえ方の違い③言葉の解り方の違い④伝え辛さ⑤手や指先の感じ方の違いの5つがあります。



講習では⑤の特性について、参加者が手袋をして文字を書くことで、感じ方の違いを体感しました。このような特性がある方には、鉛筆にゴムグリップを付けるという道具の工夫で支援を行います。

③の特性では、「少し」のような抽象的な言葉が苦手だったりします。「少し待って」はどのくらい待てばよいのでしょうか。この場合は、「5分待って」と具体的な言葉で伝えることでわかりやすくなります。

本講習を受けて、一人ひとりに特性があることを理解し、どうすればより

わかりやすいか、より行いやすいかの工夫をする必要があることを知りました。

講師のいっぽ



NPO法人 発達障害サポートセンターピコア
西山 民恵 先生

発達障害のあるお子さんは、一見困った子に見えますが、実はご本人が困っています。見え方、聞こえ方、感じ方が私達とは異なっており、手助けが必要です。一方で、出来る事も沢山あります。彼らの強みにも注目頂けると幸いです。

子どもの人権について

本講習は、先生が受講者に問いかける↓先生が答えを受けてまた別の受講者に問いかける↓答えを受けて…といった参加形式で実施されました。

ワークショップ「子どもならOK?おとなならOK?」では、おとなと子どもの似た事象を比べることで、「子どもの人権」をぐっと日常に引き寄せて考えることができました。

例えば、次の質問です。おとな・夫婦間で相手の携帯電話を勝手に見ることも…親が子どもの机の中を勝手に見ることも相手が勝手に見てもOKなのでしょうか？



子どもの権利条約は、「子どもを権利をもつ主体」と位置づけ、おとなと同じく、ひとりの人間としての権利を認めています。

前述の質問について、皆さんはどう考えるでしょうか。ぜひ考えてみてください。

講師のいっぽ



NPO法人 えんげわめんと堺ES
北野 真由美 先生

「子どもたちはだんだん人間になるのではなくすでに人間である」というコルチャック先生の言葉。子どもは、おとなと同じように感じて見て学ぶ。子どもが権利の主体であることを知ることで他人の権利も守れるようになると考えます。

毎月10日は少年少女の日
毎月第3日曜日は家庭の日



令和3年度 表彰者一覧

(敬称略)

大阪府青少年指導員 連絡協議会会長表彰	権田 崇(八尾第二)	
	岡 邦広(上之島)	
青少年育成功労者等表彰	山根 通子(美園)	
	石崎 哲雄(大正北)	
	田中 慶順(八尾第一)	井上 健太郎(八尾第一)
	大宮 隆義(八尾第一)	皿井 武彦(八尾第三)
	角 道信(山本)	西野 真司(山本)
	川元 健司(大正)	辻本 芳昭(大正)
	北尾 聖次(長池)	土居 由子(長池)
	宿野 隆(西山本)	岩井 直人(刑部)
	宮本 寛(刑部)	小川 智美(美園)
	上 理恵(美園)	山本 真由美(美園)
文化の日市民表彰	石田 将宏(南高安)	米田 憲生(南高安)
	河村 政彦(竹淵)	田崎 利広(曙川)
	古田 響子(南山本)	西辻 正次(南山本)
	森本 浩司(永畑)	山本 和生(永畑)
	宮本 京子(高安西)	笠原 辰司(高美南)
	小川 美恵(曙川東)	岡 邦広(上之島)
	竹田 喜久(上之島)	内山 孝弘(東J)
	荒川 宏之(東J)	田邊 健一(東J)
	竹野内 雄治(曙川中J)	

コロナ禍における子ども会活動アンケート結果 ホームページに掲載中

令和2年度末に実施した子ども会活動のアンケート結果を、生涯学習課のホームページに掲載しています。今後の活動の参考にして頂ければ幸いです。

八尾市 子ども会アンケート

検索



令和4年度「子ども会施設利用助成制度」ご利用いただけます!

この制度は、府・府連安全共済会に加入している、または加入を予定している子ども会が、対象施設を利用する際の「施設使用料の支払い」を八尾市が行う制度です。詳しくは生涯学習課のホームページをご覧ください。

八尾市 施設利用助成

検索

